

A N A N

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社
連絡●〒399-1511 東条58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

Contents

- P1 表紙 遊歩道
P2 帯川の話(西尾 実 著)
P3 あなん情報発信局
P4 あの人この人
おらほの若い衆
P5・6
あなんトピック、
お知らせ、編集後記

藁細エワークショップ作品



遊歩道

2025年が幕を開けた。昨年元旦、大きな地震に見舞われた能登の復興を心静かに祈る。そんな昨年の世相を表す漢字は30年間で5度目の『金』。オリンピック・パラリンピックの金メダル、佐渡金山の世界遺産登録、裏金、闇バイト…など金にまつわる様々な事柄をたどって。

さて今年はどうな一年になるだろう？60年に1度巡ってくる六十干支のひとつ乙巳年、非常に珍しい組み合わせの今年の象徴は、乙は木を、巳は蛇を意味し、新たな成長や再生発展の年と言われる。目標を掲げ、すぐに達成できずともあきらめず粘り強くやり続けることで結果する！皮肉なことに巳(蛇)年の人は金運がよくお金が貯まるとも言われているが、巳年人口は十二支中10番目と希少。

自然界に生かされている私たちは、今一度、当たり前のことが当たり前ではないことを思い返してみるべきだ。大切なことを見落としてしまわないように、先人の知恵を未来へ継承していけるように。

著作 西尾 実

おびかわ

常川の話
「門松」

毎年年の暮が近づくと、父は山

から松の若木を切り出してきて、表庭の井戸端に近い高い石垣に立てかけた。大松さまを迎えてきたといって、まず串柿をその枝にもたせて捧げ、饌米を供えた。そうして一晩経つと、翌日は表庭の下座敷の前あたりに新しい棒杭を二本並べて立て、その中央にこの大松を立て、その表と裏と両側面に松の木を三、四尺ぐらいの長さに切って、縦に割った木片をぐるりと立てまわし、大松さまの根元を守るようにした。そうして、その木片の白く割られた面に、墨筆で太く大きく十二月と各片に書いた。

道から表庭に入って大戸へ近く通路より少し左に立てたこの松飾りの松は、二階からさし出ている、ひさしの屋根より高く、上に出ていた。如何にも新年らしい見事な松飾りであったが、間もなく、門松に松の若木を使うことが全国的に禁止され、枝松で松飾りをし

なくてはならなくなってからは、その中央に竹を立て、枝松をその根元に添えることになってしまった。

大松さまを景気よく飾ったところは、わたしの郷土では元日に八戸の主人が、一軒一軒新年のお祝いに、いわゆる御年酒廻りの行事であった。

二日には親しい近所の主婦や子どもが行ったり来たりする。三日には村中揃って、新野の瑞光院へ新年の挨拶に行く。続いて新野の親戚や早稲田や深見あたりの親戚へ行くのが四日五日と続く。他所の親戚廻りをするのは父である。そのころ、母のところへは、父母が媒酌をして嫁入りさせた、わたしが「姉さん」と呼び慣れている人たちが、早稲田へ嫁入ったばかりの姉などが集まってきた。女の子どもたちは、それぞれの庭先で、時にそこに来合せている姉さんなどを交えて、羽根つきをする。

男の子どもは凍っている坂道へ出て、板を敷いてその上に座って滑ったり、大きい子どもは竹の棒をついて立ったままで滑ったりして、母親に叱られながらかくれるようにして滑る。

正月も十六日になると、ホンヤリ（どんど焼き）という行事をし

て、一応正月の結末が告げられる。このホンヤリというのは、宮中で行われる左義長の儀式が民間に伝わったものだと言われている。

そのころのわたしの郷里でホンヤリと呼ばれていた「どんど焼き」の日は、朝から青年たちが集まって各戸の庭先に立てられていた松飾りをすべて集める。夕方帯川の入口の道端に近い酒屋の竹藪につづく河原に、高い松や薪のよな松飾りに使った棒杭や十二月と書いた割木を村中から寄せ集めて、高いやぐらを組み、薪などを加えて、火をつける。それが盛に燃え上がったころ、村中の人たちが集り、その火で餅を焼いて食べたり、書初めの紙をその燃え盛る火に投げ入れて、高く舞い上ると、字が上手になるといって喜び、その高いやぐらの火が燃えしずまるまで、その焔に顔をほてらせながら、喜びあう。その日の最後まで止って、全部後始末をするのは、青年たちの夜を徹しての仕事であった。しかしわたしの記憶に止まっているホンヤリは、二度だけであったように思う。それからあとは正月の松飾りも枝松になり、このホンヤリの豪華版も何時とはなしに行われなくなったものと思われ

● 講座開催予定 ●

日本の国文学者・阿南町名誉町民

西尾実の故郷で学ぶ
国語の世界

信州大学出前講座

■ 場所

化石展示館（かじかの湯）

■ 講師

信州大学教授 西 一夫氏

■ 時間

午後1時～午後3時予定

■ 定員

30名程度

名誉町民であり日本の国文学者の西尾 実の故郷で、国語の世界を学ぶ企画。今年度2回目となる、信州大学出前講座で講師に西 一夫教授をお迎えして開催。多くの皆様のご参加お待ちしております。

詳細については、1月の組内回覧で周知します。

ANAN情報発信局

国重要無形民俗文化財に指定されている【新野の雪祭り】。阿南町に住んでいてもどんなお祭りが知らないというお話から、公民館報でご紹介！【雪祭り】は雪を豊年の予兆とみて大切に扱うところからその名がつけられました。じつはこの祭りは1月1日に始まり、10日（現在は12日）～16日にかけて行われています！今回はお祭りの当日の流れをご紹介します！

1月14日(火)

お上り

諏訪神社 発 午後4時頃
伊豆神社 着 午後5時30分頃

神楽殿の儀 午後7時頃～午後9時頃

本座のびんササラ、新座のびんササラ、

ろんまい まんざいらく
論舞、万歳楽、神おろし（宣命）

ずん まい たいまつ お
順の舞、松明起こし

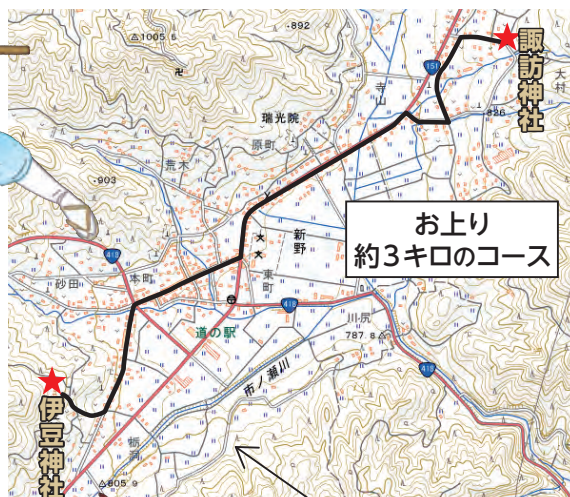
ほんでん ぎ
本殿の儀 午後11時頃～午前0時頃

しゅうばつしき がらん
修祓式・伽藍神の祭り

さいてん 祭典

けんせん おたからいたくしき ごさんぐう だいまい
献遷、御幣奉戴式、万歳楽、御参宮、代参り、

ちゅうけい まい
中啓の舞、神おろし（宣命）、順の舞



神楽殿の儀から
会場 伊豆神社



1月15日(水)

にわ ぎ 庭の儀

午前0時半頃

らんじょう 乱声

午前0時半頃～1時半頃

さい ほう 幸法

午前1時半頃～2時半頃

きょうまん 競馬

午前3時半頃～4時頃

おきな 翁

午前4時半頃～5時頃

しょうじつきり 正直切

午前5時半頃～6時頃

かん ば 神婆

午前6時半頃～7時頃

はち まん 八幡

午前7時半頃～8時頃

か じ 鍛冶

午前8時半頃～9時頃

おおたいまつ 大松明点火

午前1時半頃

も ど き 茂登喜

午前2時半頃～3時半頃

うし お牛

午前4時頃～4時半頃

まつ かげ 松影

午前5時頃～5時半頃

かいどうくだ 海道下り

午前6時頃～6時半頃

てん ごう 天狗

午前7時頃～7時半頃

し づ め 志津目

午前8時頃～8時半頃

た あ そ 田遊び

午前9時頃～9時半頃

※時間については、目安の時間となります。当日の進行状況により異なります。

路面等の凍結にお気をつけていただき、暖かく・匂いがついても良い服を着てお越しください。

おのこの人

新野出身

栗生 みなさん

今年10月から阿南町観光大使に就任された経緯や想い、今後の活動について伺いました。

就任のきっかけは？

東京で歌や演劇の活動が続ける中で、「人を楽しませることが好き」という自身の原点に立ち返る機会がありました。その原点は、地元のお祭りやイベントで人々が楽しむ姿を見て育った経験にあると気づき、地元への感謝と恩返しをしたいという想いが芽生えました。

また、帰省するたびに地元の方々の温かい応援を受ける中で、「自分が何か地元の活力になるようなことができないか」と考えるようになりました。そんな折、阿南町に観光大使の存在を知り、問い合わせをしたところ、今回のお話をいただき、喜んでお引き受けしました。

今後の活動について

阿南町の魅力を多くの方に知ってもらい、ファンを増やしていきたいと思っています。その第一歩として、令和7年4月12日(土)に長野市で地元の魅力を発信するライブを予定しています。このライブでは、阿南町の小中学生に詩を募集し、その詩をもとに新曲を作成しパフォーマンスを行います。現在、地元の皆さんにもご協力いただきながら準備を進めているところで

す。まだ観光大使として模索中の部分もありますが、一歩ずつ地元の魅力を発信し、阿南町に貢献できるように努めてまいります。



おらぽの若い衆

大下條 深見

熊谷 真央さん



前回に引き続き阿南町の若きホープのおふたりパートⅡ。熊谷 真央さんを紹介します。

パートⅠの金田 莉歩さんと同様、地元の短大を出て2年目、現在は新野保育園勤務です。幼い頃から学校の登下校の際「いってらっしゃい」「おかえり」と声を掛けてくれた人たちの印象が強く、そんな温かい人たちの住む阿南町で保育士として働きたい。そこが原点だったよう

です。毎日こどもたちと関わる中で、可愛くて癒される反面、こどもたちから学ぶことも…。成長のお手伝いをしたい！そんな使命感をもって頑張っている真央先生です。

家ではお料理が得意。食べることも大好きで美味しいものを食べに北海道へ行きたいという思いも…。休日は家族や姪っ子さんたちと出かけることが多いのですが、残念なことに町内に食事をしたり遊んだりするところが少ない…。阿南町の大切なこどもたちと関わっているから、なおさら、このこどもたちが将来定住してくれるような街になってほしいと思いを語ってくれました。



令和6年10月27日(日)

太下条公民館

西北公民館

西北公民館では、公民館役員を中心にマレットゴルフ大会を実施。参加者41名で楽しくプレーを行いました。結果は左記のとおり。

- | | |
|-----|--------|
| 1位 | 佐藤 政子 |
| 2位 | 金田 信保 |
| 3位 | 伊藤 正夫 |
| 4位 | 坂巻 明久 |
| 5位 | 坂巻 美知子 |
| 6位 | 佐藤 俊治 |
| 7位 | 坂巻 知佳 |
| 8位 | 佐々木 洋二 |
| 9位 | 金田 たか江 |
| 10位 | 島津 加恵子 |

公民館報では、各分館で行っている事業や、阿南町での身近な出来事を募集しております。グループフォームへ書き込んで皆さんで作る公民館報にしましょう！

公民館報なんでも掲示板



あなんナビック

令和6年11月2日(土)

感性と創造の
フェスティバル

阿南学園



ふちっこ金管バンド



和合小学校



シルバーうたごえサークル



新野小学校



太和楽



まっきいろのはな



グリーンハーモニーあなん

町内8団体もの文化団体が発表しました！
発表後には、阿南町観光大使 栗生みなさんによる公演も実施！
来年度も多くの参加者の発表をお待ちしております！



根羽村 (3団体)



阿南町
武道空手少年クラブ阿南・根羽道場
阿南ハーモニカ同好会
阿南町ふっとふっとグループ
阿南高校吹奏楽部
グリーンハーモニーあなん
(5団体)

豊根村 1団体

天龍村 1団体

来年度は、豊根村にて開催予定となります！
多くの参加者をお待ちしております。



売木村 (1団体)



令和6年11月10日(日)

愛知・長野県境域住民

文化交流会

令和 6 年 11 月 24 日 (日)

琵琶と「源氏物語」を 楽しむ会

びわ げんじものがたり

場所 阿南町化石展示館

薩摩琵琶奏者 折山 清子さんの語りと演奏で「初恋」と平家物語「敦盛」。「源氏物語」読書会の皆さんによる「明石の巻」琵琶に係る場面の群読。

薩摩琵琶は盲僧琵琶の流れをくみ、明治以降は全国で盛んになりましたが、戦後は演奏する人も楽器を作る人も少なくなりました。

参加者は 20 人弱でしたが、こじんまりとした会場で、心に染み入る語りと琵琶の響き、「源氏物語」音読を楽しみました。



阿南町出身 漫画家

かつら ふみさん

デビュー作「まんがタイムきらら 1 月号」に掲載！
「制御不能なカリスマ」というタイトルの漫画となります！今後の活躍にも要注目！
詳細は、かつら ふみさん SNS をご覧ください。



かつら ふみさん
X (旧 Twitter)



おしらせ

新野物語

2 年前に阿南町新野で公演され、大好評だった新野の盆踊りを題材にした演劇作品「新野物語」を、阿南町観光大使の栗生みなさんを交えて再演します。今回は、新野の「まるはち旅館」にて無料で上演します。

新たなキャストによる「新野物語」を通じて、新野の伝統や魅力を改めて感じていただければ幸いです。観覧をご希望の方は、事前にお電話での予約をお願いします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

1 月 31 日 (金) 18 時 30 分開演
会場 まるはち旅館

※事前予約必須となります。

問合せ先 新野だら実行委員会
☎ 090-9667-6425 (担当 金田)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年 11 月 23 日に新野地区で第 38 回歩いて健康大会が行われました。私も初めて参加させていただき、朝 9 時集合で開会式があり、新野公民館長の号砲でスタートしました。道の駅出発で本町を通り瑞光院を経由してクラインガルテン横を通り国道 418 号に出て道の駅に戻りました。約 4.5 キロのコースで 1 時間半くらいかかりました。途中の瑞光院の前で新野千石平を眺めたり、少し遅かったけれど紅葉した木々を観ながら皆、個々話ながら歩きました。十九庵の大銀杏の紅葉が見られなかったのが残念でした。

ウォーキングは、有酸素運動による体脂肪の減少や心肺機能の改善、骨粗しょう症予防やストレス発散、認知症予防など色々な効果が期待されています。友達と歩くもよし、また一人で景色を見ながら歩くもよし、楽しく健康で元気に過ごしましょう。本年は大下條地区で行われます。大勢参加していただき楽しく歩きましょう。

阿南町公民館長 伊藤 幸一